

校長 松葉 真佐江先生

「トンボだって、カエルだって、ダンゴムシだって・・・」



私がまだ大学生だった頃、あれは確か英語の講義の最中、一匹のアゲハチョウが教室に乱入してきました。「キャーキャー」と悲鳴を上げて騒ぎ出す学生達に、「小学校の先生になろうとしている人たちが、こんなことで騒いでどうするの!」と教授が一喝。「なるほど。」とその時納得しましたが、この仕事に就いてから、あの日の「なるほど。」を何度も繰り返すことになろうとは・・・

ご存知のように、小学生は生き物が大好き。両手いっぱいこぼれそうなダンゴムシや片手でわしづかみしたヒキガエルを、目の前に突然ぬっと出されたときの驚きと恐怖は言葉になりません。でも、私は小学校の先生。心の中で「ぎゃー」と叫びながら、「よく見つけたね。」と表面笑顔で切り返す技をいつの間にか習得し、今では、カエルもトカゲもアゲハの幼虫もつかめるようになりました。昆虫もだいたい体長5cmまではつかめるかな?(でも、Gは絶対に無理です。)これもすべて修練の賜。生き物大好きな小学生を師匠に、日々鍛えてもらったおかげで、小学校の先生としての必須基本技能を身に付けることができました。思い起こせば、なんともかわいくて厳しい師匠たちでした。

自然に囲まれたここ山辺小にも、毎日生き物の入った虫かごを笑顔で抱えて登校する子どもたちや休み時間に虫探しやトカゲ探しに夢中になっている子どもたちがたくさんいます。そして彼らの生き物に関する知識の深さに驚かされます。トカゲとカナヘビの違いも、山辺小の子どもたちからレクチャーしてもらいました。得意の生き物について話してくれる子どもたちの目は、きらきらと輝いています。

今日も学校のあちらこちらを意気揚々と走り回っている生き物博士達に一つだけお願いがあります。「チャイムが鳴ったら、教室に戻るのを忘れないでね。」

教頭 柿澤 健太先生

「半年を振り返って」

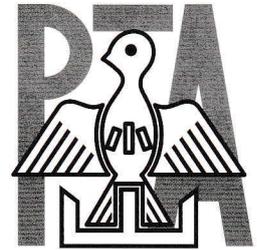


今年度から山辺小に勤務させていただき、あっという間に半年が過ぎました。半年を振り返り感じていることは、毎日の教育活動を丁寧にそして着実にを行うことができるのは、保護者の皆様をはじめとした多くの方々のご支援があるおかげであるということです。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

ちょうど、この原稿を仕上げている日の朝、山辺小学区で、大型犬が徘徊しているという情報が警察から学校に入りました。児童の登校時刻であったため、まず教職員の1人が現場付近に向かい、状況を把握。残りの教職員で、児童の安全確保のための動きを分担して行いました。児童は安全に登校し、被害はありませんでした。(幸い、お昼前には徘徊していた大型犬も確保されました。)

その対応をする中で、地域の方から「歩道に出て、子どもを見てたんだよ。」「この道を(犬が)通るかもしれないから、道路に立ってますよ。」「〇〇さんの家の方向に(犬が)向かったみたいだから、(保護者に)連絡してみるよ。」などの言葉をいただきました。山辺地区の子どもたちを、地域全体で見守っている地域の方の温かさ、やさしさにふれ、改めて、皆様に支えられていることを実感する出来事でした。

私は、今から二十数年前、山辺小学校で1年間勤務させていただいた経験があります。4年4組の担任として、子どもたちと勉強や運動をする中で、特に思い出深いことは、クラスみんなで力を合わせ「4年4組の風」という劇に挑戦し、大きな拍手を会場からもらったことです。子どもたちの達成感に満ちた表情が忘れられません。そのような貴重な経験をさせていただいた山辺小に、教頭として、再び勤務するとは夢にも思っていませんでしたが、これも何かのご縁、「えにし」だと思いますので、皆様のお役に立てるよう、引き続き努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りいたします。



第 131 号

発行所 足利市立山辺小学校
発行者 齋藤 和久
編集 藤原 久
P T A 広 報 部
印刷所 栗原 印刷

えにしのちかい
○しみじみと語り合える夫婦親子、友だちになりましょう。
○人間と人間の縁を大切に、ほんとうのことが話し合える仲になりましょう。
○子どもを良くするために親であるわたしたち自身も、進歩し成長するようにつとめましょう。

山辺小のブログは

こちらから

山辺小の子どもたちの活躍の様子を中心に、日々の学校生活について写真と記事で紹介しています。スマホなどで気軽に見ることが出来ますので、ぜひチェックしてみてください。



全学年 八木節



合戦

3色対抗リレー



大運動会

全力で勝利をつかみとれ

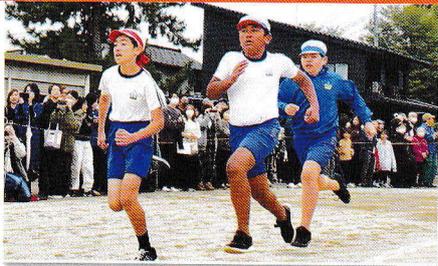


5年生 チャレンジランキングNo.14

ールをめざせ!

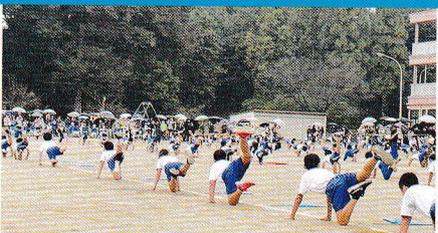
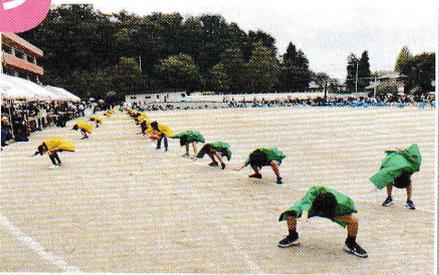


6年生 山辺陸上2025! LAST RUN!



ラン

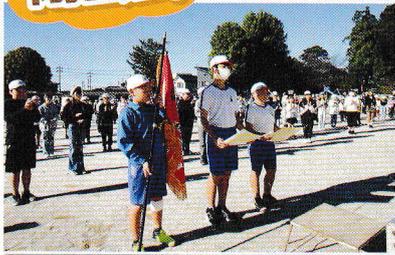
5.6年生 魅せる山辺魂~Evolution~



開会式



閉会式



赤組優勝!



応援合



令和7年度

山辺小

テーマ 仲間と共に一致団結

1年生 はじめての よーい どん!



3年生 ポーズをきめて、ゴ



2年生 ひろって くぐって うんだめし



4年生 運試し競走



1.2年生 ツバメ



3.4年生 THE☆ロックソー



PTA会長挨拶文

PTA会長
齋藤 和久



今年度、PTA会長を務めております齋藤と申します。山辺小学校も創立百五十一年目を迎え、新しい時代へと突入いたしました。現代は時代の変化が著しく、私の子ども達が小学校に通っていたこの十年間でも、世の中が大きく変化したことを実感しております。その間にはコロナウイルスの流行もあり、小学校を取り巻く環境も大きく変化いたしました。そうした中で、今PTAも大きな変革を迫られています。私の立場で申し上げるのもいかなものかとも思いますが、PTAの必要性といった、根幹に至ることまで話に出さなければならぬと思っております。結論から申しますと、PTAという組織はともかく、保護者が学校に関わる場合は必要だと思えます。学校と保護者、地域社会が協力して子どもを育てる社会が理想であり、その中で学校と保護者、地域社会をつなぐものとしての何かが必要です。そのためには、なるべく保護者の皆様に負担をかけず、また、参加すれば他の保護者や学校の教職員と話ができるなど、皆様が参加したい場にしなければと思っております。これから今年度の残り、来年度、またその先にかけて、保護者の皆様を驚かせるような変化が起こると思いますが、先に書きましたような思いを持って、改革を行っていきたく思っておりますので、ご理解頂きますようお願い申し上げます。また、できましたら、ご賛同頂いてご協力を仰げれば、ありがたいと思っております。最後になりましたが、日頃のPTA活動にご協力頂いておりますこと、心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

慌ただしい日々の中でも

山辺小学校でもPTA活動が縮小し、私はいわゆる「名ばかり副会長」です。皆さんの前に出る機会は、この文章くらいでしょうか。原稿のお話をいただいたとき「副会長」という立場よりも、一人の保護者として思いを綴ろうと思いました。

朝六時三十分、我が家の一日が始まります。高校生の娘のお弁当を作り、それぞれ朝食をとり、七時半に夫と娘が出発。八時ごろ、息子が元気に「いってきます」と登校します。その十分後、私も出勤です。八時半から十七時までのフルタイム勤務。唯一ほっとできるのは、仕事の合間のわずかな時間（お迎え要請などなければ…）。残業なしで即退勤し、買い物、宿題、犬の世話、夕食と、二十二時頃までがまた勝負です。掃除や洗濯は夜や土日の空いた時間に。きっと同じように、またはそれ以上に忙しい毎日を送っている方も多いと思います。子育てや教育を学んで保護者になった訳ではないので、子どもがくじけたときには不安になります。そんな時、先生に相談すると、丁寧に話を聞いてくださり、その言葉に助けられて親子で前へ進むことができます。学校でのうれしい出来事も子どもを通して共有し、保護者同士でも分かち合えたら、限られた時間をより濃くできると感じます。

今は小学生でも一人一台のパソコンを使う新時代。大人も共に学びながら、柔軟で慎重に見守っていきたいと思います。あと十数年、保護者として子どもの明るい未来と一緒に築いていけたら最高です。

PTA副会長
菅原 雅子



「えにし第131号」発行に
あたりご協力ご援助いただいた
皆さまに対し、広報部一同深
く感謝いたします。

編集後記

部長	村上 明子(2年生)
副部長	阿部 桂佑(2年生)
	佐藤 美帆(6年生)
	松山めぐみ(6年生)
	池田 亜未(5年生)
	植木真理子(5年生)
	岡田 美幸(4年生)
	粗 純代(4年生)
	野澤 祐子(3年生)
	三野 明子(3年生)
	栗田 牧希(1年生)
	鯉淵 里美(1年生)

